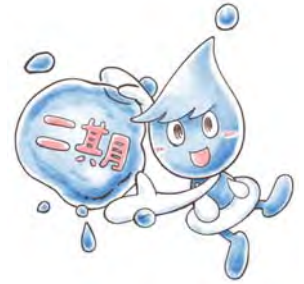


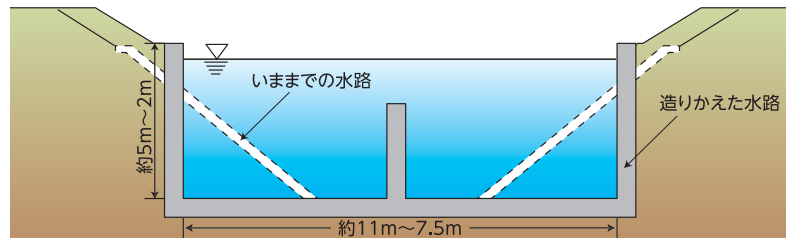
～水の安定供給につなげる二期事業～

1961年(昭和36年)の全面通水から20年が経過した1983年(昭和58年)から、水路の老朽化^{ろうきゅうか}及び水利用の変化に対応するため、愛知用水二期事業が始まり、大規模地震に耐えられるよう耐震補強^{たいしん}を行い、災害に強い水路に造りかえ、2005年(平成17年)3月に完了しました。



新たな幹線水路

台形をさかさまにした形から、四角い大きな水路に造りかえました。片側にだけ水を通し、もう一方は点検や修理ができるようにまん中にしきりを入れました。なお、トンネル・サイホンも同じ目的で二本目(バイパス)を造りました。



改修前の幹線水路



工事中の幹線水路



改修後の幹線水路

二期事業では、幹線水路と共に約500kmの支線水路を改修しました。



改修前の支線水路(開水路)



改修後の支線水路(管水路)

幹線水路と支線水路

木曾川から取水した水が幹線水路を流れ、枝分かれした支線水路によって、各地域に配られています。

